

**目標達成計画**

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	40	日常生活の中で主となる食べることの楽しみとなるサービスの提供が行えていない。同法人内の配食サービスを利用しているが、決められた献立を職員がほぼ加熱調理等を行っている状態である。	利用者が食べたいと思うものを日常の会話から探り、利用者お一人おひとりの残存能力を引き出し、続けていけるように、職員と一緒に作り、食べる楽しみが持てるよう手作りの食事の回数を増やしていく。	・月に1～2回の手作りの昼・夕食の提供 ・献立を日常の会話の中で探る ・利用者と一緒に買い物に行き、食材選び ・月に1～2回を週に昼食、夕食の1食は手作りの食事が提供できるよう業務内容を検討し、実践する	6ヶ月
2	35	災害時に利用者が安全に避難できる方法を職員全員が身につけているとは言い切れない。また、地域との協力体制が確実にとれているとは言えない。	災害時に利用者が安全に避難できる方法を考え、地域住民からの協力が得られるように取り組んでいく。	・災害時マニュアルの見直しを行い、作成する ・責任者会議で安全に避難できる方法を検討し、消防や地域住民の方から助言をいただけるように働きかけていく ・事業所の近隣に在住している職員も多く、災害時に協力が得られるよう緊急連絡網の作成	6ヶ月
3	2	事業所自体が地域の一員として、日常的に交流ができていないとは言い切れない。また、近隣の方が高齢者施設であることを知られていないことが多く、事業所のアピールが積極的に行えていない。	地域ボランティアや近隣の保育園から学生等が事業所に入りやすい環境をつくり、事業所の知名度をあげていき、地域住民との交流の場を増やしていく。	・運営推進会議の場で地域の方からの情報収集 ・北区ボランティアセンターへボランティアの依頼 ・近隣の保育園から学生等の受け入れ、行事等に参加する	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。